

被曝させ続ける大人たちへの問いかけ 福島の子どもたちが菅首相に手紙



子どもたちの思い。(撮影/田中龍作)

福島の子どもたちの声を政府に届けよう——と、福島県の小中学生四人が一七日国会内で原子力災害対策本部や文部科学省の担当者に、約四〇通の子どもたちの手紙を手渡した。うち四通を公開するが、原発事故の最大の被害者である子どもたちの問いかけは、いまだに彼らに被曝させ続けている大人たちへの告発でもある。席上、子どもたちは避難させてくれるよう求めたが、官僚たちは冷たく拒否した。

「なんで？」

……お母さんはインターネットでいろいろ調べて、放射能がとてまきけんだと言って、ここにいてはいけないといいました。でも、私はすいそがく部でフルートをがんばっていたので、「転校したくない!」と言いました。でも、毎日外に出るときは、ぼうし・めがね・マスク・手ぶくろをしなければならず外しゅつをなかなかできない学校では、校庭で遊んではいけないと言われ、私もここにいてはいけないと思うようになりました。でもお友達とわかれたり、すいそがく部ができなくなるのはつらくてなみだがこぼれました。

お友達はまだ、福島にいます。いろいろなじょうがあつてひなんすることができません。だからお友達がしんばいです。こんなことになってしまった、原発が大きいです。早く原発をなくして福島をきれいにしてみんながもどれるようにしてください。お願いします。

5年生 K・Y

「菅そう理大じんへ」

僕は、しょう来サッカー日本だい表になりたいです。でも今の福島ではいっばい練習できません。いつになったらぼうしゃのうは、なくなりますか。僕は、大人になれますか？ 早く外であそびたいです。家ぞくがはなれてくらすのもいやです。友だちとはなれるのもいやです。どうか僕たちをたすけてください。

3年生 S・R

「わたしはふつうの子供を産めますか？ 何さいまで生かれますか？」

なんで、わたしだけ、転校しないといけないんですか、毎日長そで、長ズボン、マスク、ボウシでとても暑い日もっています。外でも遊べません。まども、去年のようにはあけられません。わたしのお母さんは、いつも、ニュースを見るかパソコンをしています。わたしは二学期から転校します。あと7日間しか、学校にいれません。とってもいやでとってもかなしいです。TVでは、福島市南向台は安全ですといっているけど、じっさいに、こうえん会にいくと、いろいろな人があぶないと言っています。他の県の人達も、福島の子供、わたしたちを福島県からにがそうと、いろいろなプロジェクトを考えてくれています。なぜ福島市は、ひなんにならないのですか(匿名)」

「わたしの夢は去年と全くちがいます。」

- ・放射能をなくしてほしいです。
 - ・ひなんくいきにしてほしいです。
 - ・平和な国にもどってほしいです。
 - ・ふつうの子供を産みたいです。
 - ・長生きしたいです。
 - ・本当にだいじょうぶと思っているのかを知りたいです。
 - ・もう、じしんの国、日本に、げんばつをなくしてほしいです。
 - ・ひなんしている人を元気づけたいです。
 - ・みんなが自然のえがおでみんなを元気にしたいです。
 - ・日本中のみんなの力を合わせてふっこうしたいです。
 - ・放射線がなくなって、外で、大をかいたいです。
 - ・しゅくはくくんれんに今の学校の仲間といきたいです。
- お願いします。わたしたちを守ってください。

5年生 K・M



菅首相の代理人に、手紙を読み上げる子どもたち。(提供/共同)

◇9・11再稼働反対・脱原発！ 全国アクション◇

再稼働に反対！ 運転中の原発も止めよう！ 来春の全原発停止を実現しよう！
安全委員会、保安院に安全審査の資格なし！ ストレストテストはいんちきだ！
福島の人々とともに、放射能から子どもたちと労働者を守ろう！
電力は足りている！ エネルギー浪費をやめて、自然エネルギーへの転換を！

約半世紀の間に、日本の原発で被ばくした労働者は50万人にのぼると言われます。福島第一原発事故によって、子どもや労働者を含め、それをはるかに上回る人々が今なお被ばくを強いられています。収束は遠く、原因も未解明であり、安全審査指針も破綻したままです。

それにも関わらず、原発推進路線を突き進んできた経済産業省は、反省なきままトップのすげ替えによる延命を図りつつあります。そのもとにある原子力安全・保安院は、安全性チェック機関という役目を放棄した“原発やらせ推進院”と化したまま、再稼働に動いています。

事故の最大の責任官庁である経済産業省・保安院を1万人の「人間の鎖」で包囲し、「原発NO！」の意志を表しましょう！



- 13:00 日比谷公園・西幸門集合 (霞ヶ関駅、内幸町駅)
- 13:30 デモ出発
(新橋方面 / 東電前など通り日比谷公園まで)
- 15:30 ~ 17:00
経済産業省 (保安院) を
1万人の「人間の鎖」で包囲！

原発現地からの発言あり。
要請書、プラカード、鳴り物など持ち寄り歓迎。
パフォーマンスも歓迎！
Ustream中継予定。いまだかつてないアクションを！

◇9月11日(日):福島原発震災の発生から半年◇

9月11日 @ 東京

【経産省を人間の鎖で囲もう！ 1万人アクション】

【呼びかけ】 9・11再稼働反対・脱原発！ 全国アクション 実行委員会

【連絡先】 ピープルズ・プラン研究所 (TEL) 03-6424-5748 (FAX) 03-6424-5749 (E-mail) contact@2011shinsai.info